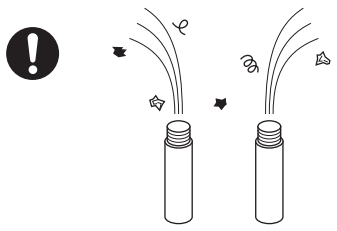
取付・設置説明書　安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した ⚠ **注意**は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●取付・設置完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法を説明してください。また、この「取付・設置説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管していただくように依頼してください。
●取付・設置は、専門業者にご依頼ください。
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

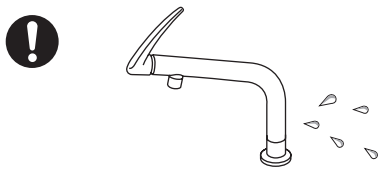
⚠ 注意

水栓を取付ける前に、配管内のゴミ等を完全に取り除いてください。



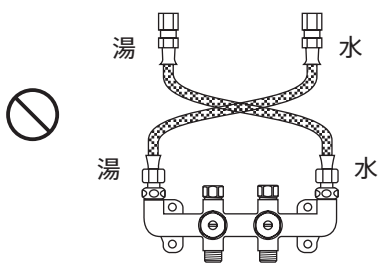
水漏れが発生し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

取付・設置完了後は、配管接続部および器具から水漏れが無いことを確認してください。



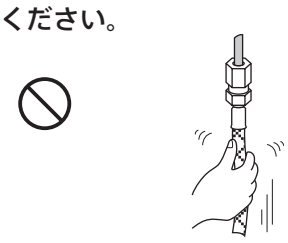
漏水で、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

湯水を逆に配管しないでください。



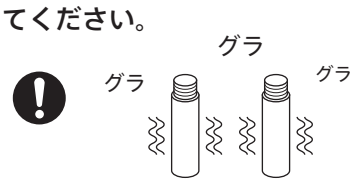
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

取付け後に、給水・給湯ホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。



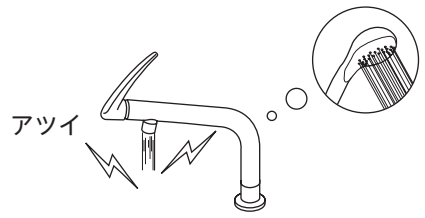
接続部分に負荷がかかり、漏水して家財等を濡らす財産損害の恐れがあります。

水栓を固定する配管はしっかり固定してください。



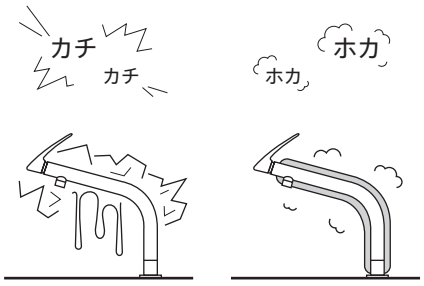
接続部分がゆるみ、漏水して家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどの恐れがありますので、やけどの恐れが無いところまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。

凍結が予想される際は、室温を下げないようにして水栓を布等の保温効果があるもので包んでください。



凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

仕様

給水・給湯圧力	推奨操作水圧	0．2～0．4MPa
	最低必要水圧	0．05MPa
	最高水圧	0．5MPa
最高給湯温度		80℃以下
推奨給湯温度		65℃
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
用　　途		一般住宅用

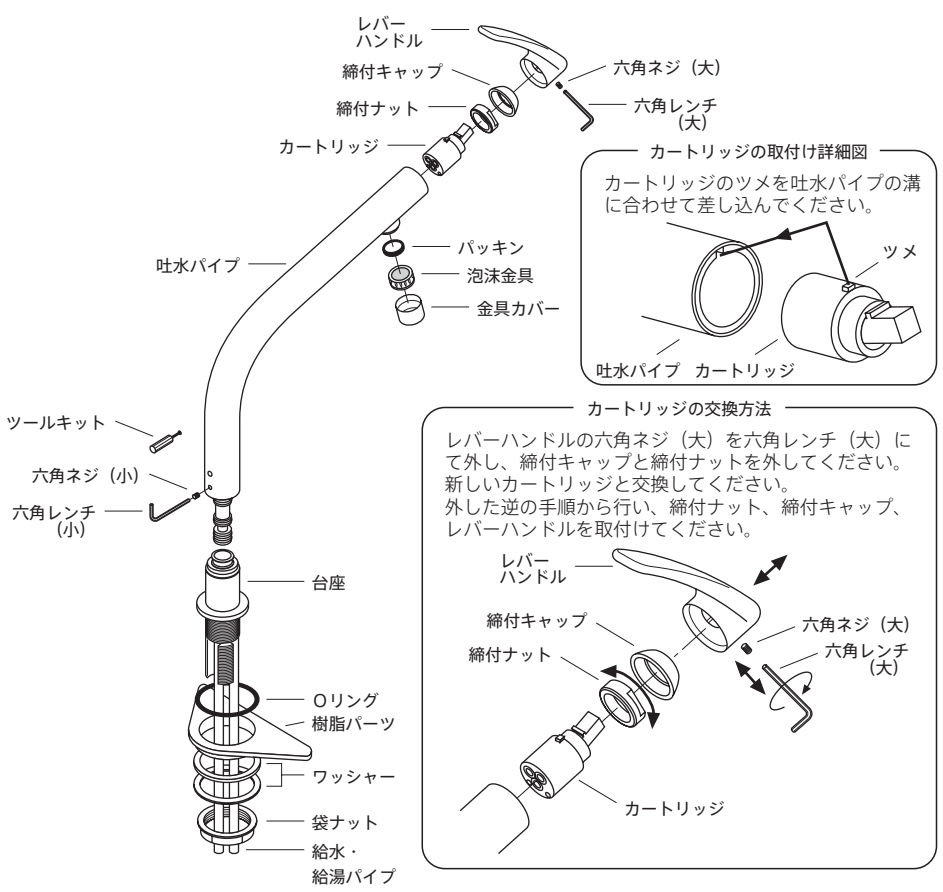
取付け前のご注意

・給水圧力が0．5MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して推奨操作圧力に減圧してください。
・給水圧力は給湯圧力より高くするか同等になるようにしてください。
・誤作動等によるやけどを防止するため、65℃給湯をお奨めします。
・給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

水栓の取付け1

（1）分解図

・万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。
※ただし、吐水パイプは台座から取り外さないでください。

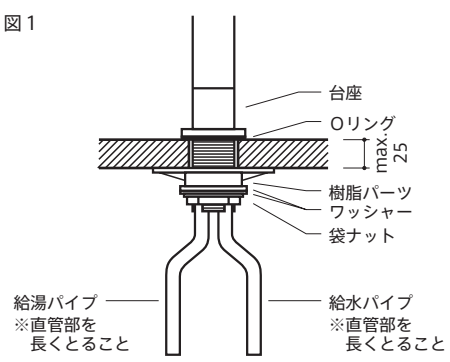


■取付け順に従って確実に取付けてください。
■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水濡れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。
■水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

（2）水栓本体の取付け（図1）

・水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。

図1



水栓の取付け2

※配管部品はオプションですので、配管に応じて別途購入してください。

■直接配管する場合

・銅管アダプターを止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。（図2）
※銅管アダプターへの差込代を約**30**mm確保してください。
・給水・給湯パイプに図3の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで**24**mmに合わせます。（「樹脂リング取付位置」参照）
水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプを銅管アダプターに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。（「袋ナットの固定方法」参照）（図4）
※袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。（「袋ナット納まり図」参照）

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

図2

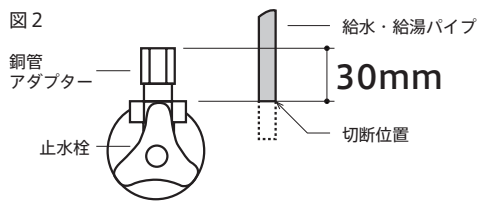


図3

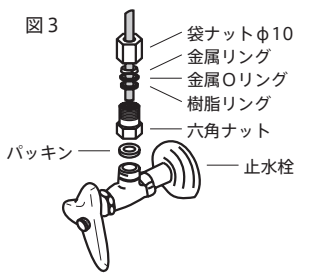
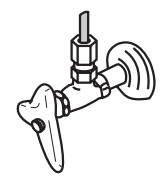


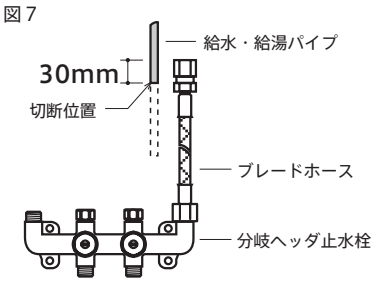
図4



■分岐ヘッダを使用する場合

・ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。（図5・6）
※ブレードホースへの差込代を約**30**mm確保してください。（図7）

図7



・給水・給湯パイプに図8の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで**24**mmに合わせます。（「樹脂リング取付位置」参照）
水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプをブレードホースに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。（「袋ナットの固定方法」参照）
ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓にねじ込み、固定してください。（図9）
※袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。（「袋ナット納まり図」参照）

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。

水栓1本使用の場合の取付け　水栓2本使用の場合の取付け

図5　図6

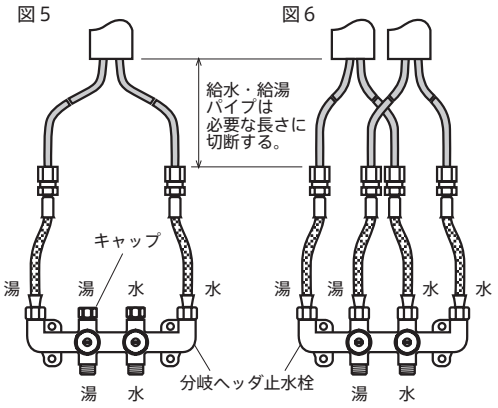
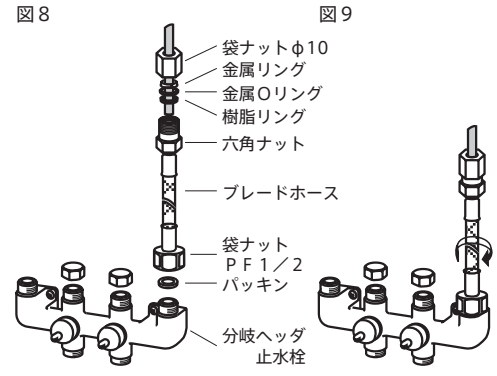
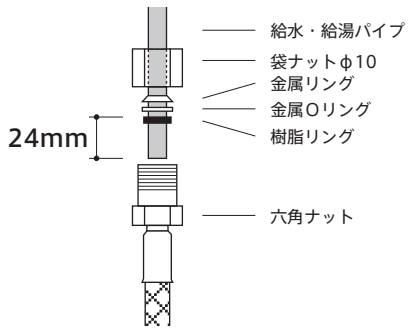


図8　図9



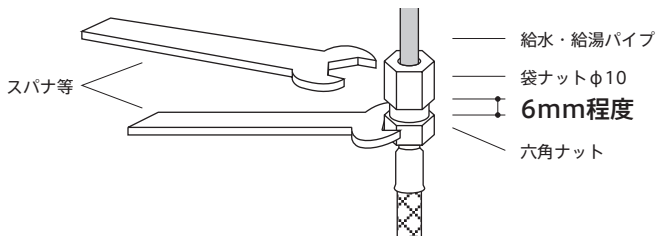
樹脂リング取付位置

・給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで **２４mm**に合わせます。



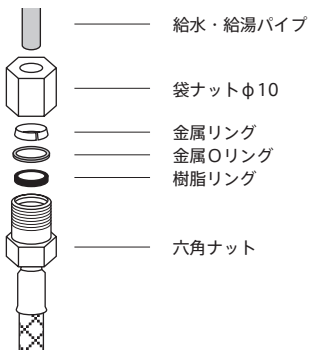
袋ナットの固定方法

・六角ナットをスパナ等で固定しながら、もう１つのスパナ等で袋ナットを回して締め付けてください。
※締め付けがゆるいと、水漏れの原因になりますのでしっかりと締め付けてください。
※再度締め付けを行う場合は、必ず新たな場所で固定してください。水漏れの原因になります。



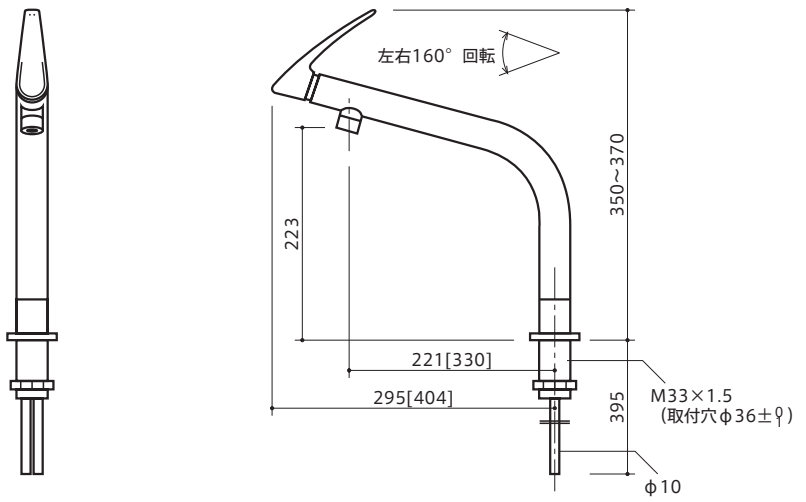
袋ナット納まり図

注意：袋ナットを締め付ける際は、部品の順番と向きに注意してください。



外観寸法図

※［ ］内寸法は、A29529NVLS、A29532NVLS-CR、A29529NVLS-TKの場合を示す。



トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

快適なキッチンのススメ
トーヨーキッチンメンテナンス　www.tk-maintenance.com
TOYO KITCHEN STYLE 商品を気持ちよくご使用いただけるように、
トーヨーキッチンメンテナンスでは修理またはパーツ販売を承ります。

携帯からでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。
アクセスはこちらから →

株式会社 **トーヨーキッチンスタイル**
〒107-0062　東京都港区南青山3-16-3
www.toyokitchen.co.jp

ユーザーサポートセンター
お問い合わせ　info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5771-1040　名古屋 052-709-1040　大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040　金　沢 076-264-1040　岡山 086-243-6111

P9WP-TRS132
15.2